

放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表

○事業所名	HIYOKO STUDY松ヶ丘教室		
○保護者評価実施期間	2025年 5月 3日 ~ 2025年 5月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年 5月 1日 ~ 2025年 5月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 6月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画を作るにあたり、保護者様、お子様からの聞き取りを丁寧に行い、原案を作り、その内容を元に職員でケース会をして、保護者様の面談でご意見をいただき計画を作成しています。	活動内容や日々の様子についてはお子様の様子をブログに載せて見えるようにしている。連絡もシステムを活用して個別に活動の様子を伝達できるようにしている。	システムの活用を充実してより良い情報発信と、計画に沿った支援内容が保護者様にも周知できるように具体的な内容報告に努めます。
2	専門職(言語聴覚士・公認心理士)による個別活動や集団活動が提供できます。療育という視点から、できていることは伸ばして、苦手なところを分析して、専門的な手法で出来る糸口を見つけることができます。	保護者様への実績報告と専門職からの助言等を丁寧に行い信頼を構築できる工夫をしています。心理職においても児童と保護者様の間で懸け橋になるような関りや、関わり方の手法を伝えていくなど意識的に取り組んでいます。	専門的な療育を展開している認知度を上げていきます。
3	活動内容に児童へ楽しく学びながら活動が提供できるように外出の機会を多く取り入れています。外食やテイクアウト体験、公園遊びなど、公共施設でのマナーやルールの習得も実際の場面で体験できるように提供しています。	事業所外での活動で安全確保の視点から日案を作り、皆で共有して実行しています。修正があれば都度臨機応変に対応しています。役割や担当も決めて外出先も困らないように計画をしています。	様々な活動場所を模索して、計画を立て振り返りながら安全に活動を続けていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地位住民や児童クラブ、他の事業との交流がありません。	交流の場を作っていませんでした。	地域行事に参加したり、当事業所の行事に参加してもらうことも検討します。
2	環境整備について掃除だけでは行き渡らない施設内の補修箇所や段差への配慮すべき点があります。	構造的な問題があります。	補修が必要な箇所については修繕依頼していきます。
3	送迎できる職員が限られているため時間調整を必要としたり、保護者様の希望される時間の帰宅が難しくなる場合もあります。	説明を行いご理解をいただき、調整時間に応じていただいています。	